

精神・発達障害者しごとサポーターの養成について

趣旨

企業内において、精神・発達障害者を温かく見守り、支援する応援者となる「精神・発達障害者しごとサポーター」を養成し、発達・精神障害に対する正しい理解を促進する。また、当該サポーターを増やしていくことにより、職場における精神・発達障害者を支援する環境づくりを推進する。

企業

〔管理職〕

〔一般従業員〕

精神障害者
離職理由

第1位
「職場の雰囲気・人間関係」

平成25年度障害者
雇用実態調査より

一般従業員の
受講を推奨

都道府県及び地域の経済
団体との共催等により、傘下・加入事業主等多くの企業
に対して、受講勧奨

受講者には
グッズを進呈

しごとサポーター養成講座

各労働局において主要地域
を中心に年3回程度開催

講師には精神障害者雇用
トータルサポーターを活用

・精神保健福祉士
・臨床心理士 等



2時間程度

講習の内容(仮)

- ・精神疾患(発達障害を含む)の種類について
- ・精神・発達障害の特性について
- ・共に働く上での留意事項(コミュニケーション方法等)について

受講後は精神・発達障害について基礎知識や理解を有することを職場内で表示

- ・パソコン貼付用シール
- ・名刺貼付用シール
- ・ネックストラップ

(表示例)



(表示例)

・いつもと違う
様子が見られたら
一声かけよう!

・和やかな雰囲気
づくりを
心がけよう!

出前講座

企業からの要請に応じて、
職場内での講習会の実施も

精神・発達障害者を支援する環境づくりを推進

年間目標
養成者数
20,000人